

(別添3)

## 解除地域調査実施細則

### 第1 調査の種類

#### 1 概況調査

##### (1) 解除地域概況調査

対策地域の指定が解除された地域（以下「解除地域」という。）に係る次に掲げる事項について概況調査を行うものとする。

- 1) 位置
- 2) 土地条件
- 3) 土壌条件
- 4) 水利状況
- 5) 法第5条第2項第2号に掲げる事業（以下「対策事業」という。）の実施状況
- 6) 農作物等の生育状況
- 7) 気象状況（降水量、気温等）
- 8) 汚染源及びこれに対する対策の状況
- 9) その他土壌の再汚染防止のために把握すべき事項

##### (2) 調査ほ場概況調査

当該解除地域の土地条件、水利状況、対策事業の実施方法等を勘案して、当該解除地域の区域内において調査ほ場を選定し、当該調査ほ場に係る次に掲げる事項について概況調査を行うものとする。

- 1) 位置
- 2) 土地条件
- 3) 土壌条件
- 4) 水利状況
- 5) 農作物等の生育状況
- 6) 土壌及び農作物等の特定有害物質による汚染状況
- 7) その他土壌の再汚染防止のために把握すべき事項

#### 2 ほ場調査

##### (1) 調査の内容

1 (2)において選定した調査ほ場に係る次の1)から4)までに掲げる事項についてはほ場調査を行うものとする。なお、土壌、農作物等、農業用排水及び降下ばいじんに含まれる特定有害物質以外の汚染物質（以下「汚染物質」という。）等、次に掲げる事項以外の事項についての調査は、当該解除地域の実情に応じ、適宜行うことができるものとする。

- 1) 農作物等の生育状況
  - 2) 土壌、農作物等及び農業用排水に含まれる特定有害物質の量
  - 3) 大気中の降下ばいじんの量及び当該ばいじんに含まれる特定有害物質の量
  - 4) 土壌の理化学性
- (2) 調査の方法

ほ場調査は、次に掲げるところにより行うものとする。

- 1) 農作物等の生育状況の調査

調査ほ場の中央部における坪刈り等による精玄米又は精玄麦の収量を調査し、当該調査ほ場を含む地域の平均と比べた当該調査ほ場に生育した農作物等の生育状況と併せ記録するものとする。

なお、農作物等の作柄の良否、その作柄に影響を与えた事項、収穫時期の遅速等についても調査し、記録しておくものとする。

- 2) 土壌、農作物等に含まれる特定有害物質等の調査方法

- ① 測定のための試料の採取位置及び採取方法

ア 土壌

(ア) 試料の採取位置は、次のア)からエ)までに掲げる場合に依り、それぞれア)からエ)までに掲げるとおりとする。

ア) カドミウムに係る場合 当該調査ほ場の中央地点及び当該調査ほ場内のその他の4地点

イ) 銅及び<sup>ひ</sup>砒素に係る場合 当該調査ほ場の水口地点、中央地点及び水尻地点を結んだ線を3等分して得た線の各々の中央地点(3地点)

ウ) 汚染物質に係る場合 ア)若しくはイ)に掲げる地点又は当該調査ほ場の中央地点

エ) 土壌の理化学性に係る場合 当該調査ほ場の中央地点

(イ) 土壌の採取方法は、次のア)からエ)までに掲げる場合に依り、それぞれア)からエ)までに掲げるとおりとする。

ア) カドミウムに係る場合 次に掲げる方法

i 採取位置において、地表から地表下15cmまで(耕盤等が地表下15cm以内に出現する場合にあっては、当該耕盤等まで)の土壌を、ハンドオーガー等を用い、おおむね1kg程度垂直に切り取ること。

ii iにより切り取られた土壌を風乾した後、非金属製の2mmの目のふるいを通させて得た土壌をそれぞれ同じ重量混合すること。

イ) 銅及び<sup>ひ</sup>砒素に係る場合 次に掲げる方法

i 採取位置において、地表から地表下15cmまで(耕盤等が地表下15cm以内に出現する場合にあっては、当該耕盤等まで)の土壌を、おおむね5kgから6

kg程度垂直に切り取ること。

ii iにより切り取られた土壌を風乾した後、非金属製の2mmの目のふるいを通過させて得た土壌を十分混合すること。

iii iiにより得た土壌を四分法により縮分し、おおむね1kg程度を採取すること。

ウ) 汚染物質に係る場合 次に掲げる区分に応じそれぞれ次に定める方法

i 採取位置が(ア)ア)に掲げる地点である場合 ア)に掲げる方法

ii 採取位置が(ア)イ)に掲げる地点又は当該調査ほ場の中央地点である場合 イ)に掲げる方法

エ) 土壌の理化学性に係る場合 ア) i 又はイ) i に掲げる方法

#### イ 農作物等

(ア) 農作物等の採取位置は、原則として土壌の採取位置と同一とする。

(イ) 農作物等の採取方法は、次のア)からウ)までに掲げる場合に応じ、それぞれア)からウ)までに掲げるとおりとする。

ア) カドミウムに係る場合 次に掲げる方法

i 採取位置に立毛している農作物等の可食部からおおむね100gから200g程度採取すること。

ii iにより採取された農作物等に付着している土壌等を除去し、当該農作物等を風乾した後、まとめて脱穀、もみすり等を行うことにより十分混合すること。

イ) 銅及び<sup>ひ</sup>砒素に係る場合 次に掲げる方法

i 採取位置に立毛している農作物等の可食部からおおむね1kg程度採取すること。

ii iにより採取された農作物等に付着している土壌等を除去し、当該農作物等を風乾した後、それぞれ脱穀、もみすり等をし、十分混合すること。

ウ) 汚染物質に係る場合 次に掲げる区分に応じそれぞれ次に定める方法

i 採取位置がア(ア)ア)に掲げる地点である場合 ア)に掲げる方法

ii 採取位置がア(ア)イ)に掲げる地点又は当該調査ほ場の中央地点である場合 イ)に掲げる方法

(ウ) 採取する農作物等の種類は、水田にあつては水稻、畑にあつては陸稲又は麦類とする。なお、必要に応じ他の農作物等も対象とすることができるものとする。

(エ) 脱穀、もみすり等をした精玄米又は精玄麦は、水分含量がおおむね13から15%にしておくものとする。

#### ウ 農業用排水

農業用排水が当該調査ほ場に流入している地点において、かんがい期間中毎月1

回採取するものとする。

なお、採取時に、採取位置、水深、流量、水温、色相、濁り、降雨状況、採取地点付近の地形、用水利用状況、主要な汚染源等についても記録しておくものとする。また、調査ほ場における減水深等についても調査し、記録しておくものとする。

#### エ 降下ばいじん

簡易ばいじん計（例えば口径15～16cm、直径約20cm、深さ約26cm、内容積6ℓの広口びんで、びんの口に適当な囲いをつけたもの）を調査ほ場付近の地表上の適当な位置に設置し、これに蓄積する降下ばいじんを毎月1回定期的に（かんがい期間中にある場合は、水の採取時期に）採取するものとする。

### ② 測定項目

採取した試料の測定項目は、次に掲げるとおりとする。

#### ア 土壌

- (ア) 特定有害物質の量
- (イ) 理化学性
- (ウ) その他特に必要と認める項目

#### イ 農作物等

- (ア) 特定有害物質の量
- (イ) その他特に必要と認める項目

#### ウ 農業用排水

- (ア) 特定有害物質の量
- (イ) その他特に必要と認める項目

#### エ 降下ばいじん

- (ア) 降下ばいじんの量
- (イ) 降下ばいじんに含まれる特定有害物質の量
- (ウ) その他特に必要と認める項目

### ③ 測定方法

測定方法は、対策地域調査実施細則第1の1(2)2⑧に準ずるものとする。

### ④ 留意事項

調査ほ場は、常に適切かつ十分に維持管理を行うものとし、ほ場調査期間中に生じた調査ほ場の変化等については、その状況を詳細に記録しておくものとする。

## 第2 調査報告書

調査報告書の様式は、別記様式のとおりとする。

なお、調査報告書には、縮尺3千～1万分の1程度の地形図の対策地域の指定が解除された地域、調査ほ場の位置及びその番号を記載した「調査ほ場位置図」並びに5万分の1程度の地

形図に河川名、取水施設、農業用排水路、汚染源等を記載した「水域概略図」を添付するものとする。

別記様式

番 号  
年 月 日

環 境 大 臣 殿

都道府県知事

年度 土壤汚染防止対策解除地域調査報告書

標記について、下記のとおり報告する。

記

1. 調査担当機関名及び責任者氏名
2. 地域別概況調査結果 (別紙1) 部
3. 地域別ほ場調査結果
  - (1) 土壤及び農作物等測定結果一覧表 (別紙2) 部
  - (2) 調査ほ場ごとの個表 (別紙3) 部
4. 調査結果の概要及び考察 (別紙4) 部
5. 添付資料
  - 附図 調査ほ場位置図 葉
  - 水域概況図 葉

(注) この用紙の大きさは、日本産業規格A4とし、文字、記号等はできる限り鮮明になるよう留意すること。

別紙 1

概況調査結果（〇〇地域）

1. 地域の所在地
  
2. 調査対象農用地面積  
水田（ha）、畑地（ha）、樹園地（ha）、計（ha）
  
3. 調査地域の概況
  - （1）位置
  
  - （2）土地条件
  
  - （3）土壌条件
  
  - （4）水利状況
  
  - （5）対策事業の実施状況
  
  - （6）農作物等の生育状況
  
  - （7）気象状況（降水量、気温等）
  
  - （8）汚染源及びこれに対する対策の状況
  
  - （9）その他土壌の再汚染防止のために把握すべき事項

4. 調査ほ場の概況

調査ほ場番号	1	2	
項目			
所在地			
位置			
土地条件			
土壌条件			
水利状況			
農作物等の生育状況			
特定有害物質による汚染状況 (土壌、農作物等)			
備考 (当該ほ場を選定した理由等を記入)			

(注) 「調査ほ場位置図」及び「水域概況図」を添付すること。



1. 土 壌 及 び 農 作 物 等 測 定 結 果 一 覧 表

区分	調査ほ場番号		1	2	3	4
	項目					
土 壌 〇 15 ㎝	特 定 汚 染 有 害 物 質	C d ( p p m )				
		C u ( " )				
		A s ( " )				
		(例) Z n ( " )				
		( " ) P b ( " )				
		( " ) P C B ( " )				
農 作 物 等	名 称					
	水 分 (%)					
	特 定 汚 染 有 害 物 質	C d ( p p m )				
		C u ( " )				
		A s ( " )				
		(例) Z n ( " )				
		( " ) P b ( " )				
( " ) P C B ( " )						
備 考						

(注)

1. 土壌中の特定有害物質等の濃度の記載に当たっては、以下のとおりとすること。

(1) C d については、カドミウムに係る検定省令により算出した値を記入すること。

(2) C u 及び A s については、銅に係る検定省令及び砒素に係る検定省令により、それぞれ次の算式により算出した値を記入すること。

$$\frac{2C_1 + C_2 + C_3}{4} \quad \text{及び} \quad \frac{C_1 + C_2 + C_3}{3}$$

(C<sub>1</sub>、C<sub>2</sub>、C<sub>3</sub>はそれぞれほ場の水口部、中央部及び水尻部のC u 又はA s 濃度)

(3) その他の物質については、採取した地点の値を記入するとともに、括弧書により採取位置(5点採取、中央等)を記入すること。

2. 農作物等中の特定有害物質の濃度の記載に当たっては、以下のとおりとすること。

(1) C d については、カドミウムに係る検定省令により算出した値を記入すること。

(2) その他の物質については、採取した地点の値を記入するとともに、括弧書により採取位置を記入すること。

3. 1. (3)及び2. (2)の物質の濃度について、第1の2(2)2)③の測定方法以外の方法で測定した場合は、備考にその旨を明記すること。

2. 調査ほ場ごとの個表

(I) 土壌、農作物等

調査ほ場番号		地目		水田 畑地 樹園地		作付作物名		品種名		生育状況		地域平均収量 調査ほ場収量 地域平均に対し調査ほ場における 生育状況		kg/10a " 優 普 劣	
項目	位置 層位	5点採取		水口		中央		水		尻		備考			
		0cm~15cm	15cm~30cm	0cm~15cm	15cm~30cm	0cm~15cm	15cm~30cm	0cm~15cm	15cm~30cm						
土壌 調査項目	土色(湿)					黒、青、灰、黄、赤、 黒、灰、灰、黄、赤、 灰、灰、褐、褐、褐									
	腐植					頗富、富、含、無									
	土性					微、細、中、粗									
測定 項目	pH (H <sub>2</sub> O)														
	塩基置換容量 (me)														
	置換性石灰 (mg/100g)														
	磷酸吸収係数														
	有効態磷酸 (mg/100g)														
	水分 (%)														
農作物等 (土壌採取位置)	特定有害物質及び汚染物質の濃度	Cd (ppm)													
		Cu (〃)													
		As (〃)													
	(例)	Zn (〃)													
		Pb (〃)													
		PCB (〃)													
		水分 (%)													

(注) 土色(湿)、腐植、土性については、地力保全基本調査における土壌分析法により、現地にて判定し該当するところを○で囲むこと。

(II) 農業用排水

河川名 用水名	採取地点	採取月日	水温 (°C)	pH	特定有害物質等 (ppm)	流量 (m <sup>3</sup> /sec)	調査ほ場の減水深 (mm/day)	備考
		1 回目 2 回目						

(注) 備考欄には降雨状況、用水利用状況、汚染源等を記入すること。

(III) 降下ばいじん

測定回数	試料の採取			降下ばいじん量 (mg/m <sup>2</sup> /月)	特定有害物質等 の量 (mg/m <sup>2</sup> /月)	降下ばいじん 発生源からの距離 (km)	備考
	測定開始月日 ①	試料採取月日 ②	測定日数 ②-① 日				
1 回目							
2 回目							
3 回目							
計  (年間)							

別紙 4

調査結果の概要及び考察（〇〇地域）

1. 調査結果の概要

(1) 土 壤

(2) 農作物等

(3) 農業用排水

(4) 降下ばいじん

2. 考察